

下町文化

江東区教育委員会
生涯学習部生涯学習課



(背面)

文化財保護審議会（会長吉原健一郎・成城大学教授）から登録・指定文化財の答申を受け、新たに21件を登録、2件を指定し、このほか3件を登録解除、指定文化財1件につき追加指定をしました。この結果、登録文化財は965件に、指定文化財は12件になりました。

江東区には、富士講に関連する文化遺産が多く伝えられています。現在、浅間神社（亀戸9）と富賀岡八

新たに21件を登録!!

幡宮（南砂⁷）に富士山を模した富士塚⁸が残っており、このうち浅間神社の「亀戸の富士塚」は平成⁷年度に区の有形民俗文化財に指定された。

浅間神社には、丸不二講の奉納物が残っています。この丸不二講は、亀戸、大島、墨田区の一部に多くの講員を擁していました。富賀岡八幡宮には山吉御水講（通称「丸す講」）の奉納した石造物があります。山吉御水講は、深川十講と呼ばれた富士講の一つです。浅間神社と富岡八幡宮（富岡1）には、深川十講のうちの山玉講の奉納物が残っています。

次頁では、今回新たに登録された富士講に関する文化財について、ご紹介しましょう。(2面につづく)

指定文化財

新規指定【有形文化財（絵画）】
紙本墨画達磨像

深川 2-22-11 寒光寺

紙本淡彩道祖神祭図 歌川広重筆

亀戸 3-57-22 香取神社

追加指定【有形文化財（彫刻）】

（追加前）木造阿弥陀如来立像

（追加後）木造阿弥陀如来立像

附 体内納入品 4点

東砂 1-4-10 因速寺

登録文化財

【有形文化財（建造物）】

石造燈籠 昭和9年在銘 一对

森下 1-3-17 深川神明宮

石造燈籠

猿江裏町南部町会奉納 一对

猿江 2-2-17 猿江神社

浅間神社社殿

亀戸 9-15-7 浅間神社

石造燈籠 昭和12年在銘 一对

大島 7-24-1 東大島神社

【有形文化財（歴史資料）】

鍾珠山人玉光句碑 弘化2年在銘

亀戸 3-6-1 亀戸天神社

市場通笑碑

亀戸 3-42-1 光明寺



お 伝 え

延命地藏尊像 文久3年在銘

亀戸 3-42-1 光明寺

水神宮石祠 宝暦11年在銘

大島 7-24-1 東大島神社

【無形文化財（工芸技術）】

木工（襖・襖縁）

新大橋 3-15-9 鈴木延坦

【有形民俗文化財】

水盤 福地弥兵衛奉納

冬木 22-31 冬木升財天

力石 8個

牡丹 3-12-2 住吉神社

水盤 両長家中奉納

猿江 2-16 釜屋堀子育地藏堂

富士講お伝え

亀戸 9-15-7 浅間神社

富士講行衣

亀戸 9-22-20 鈴木隆

深川十講碑 昭和8年在銘

南砂 7-14-18 富賀岡八幡宮

山吉御水講中碑 昭和8年在銘

南砂 7-14-18 富賀岡八幡宮

山吉丸す講改築記念碑

昭和8年在銘

南砂 7-14-18 富賀岡八幡宮

水盤 昭和14年在銘

南砂 7-14-18 富賀岡八幡宮

次回の「下町文化」では、史跡と

登録解除のご報告をいたします。

指定文化財紹介

有形文化財（絵画）

名称 紙本墨画達磨像

所有者 寒光寺（深川 2-22-11）



達磨像は、像を描いた本紙を掛け軸に表装したものです。本紙は縦29・1cm、横21・4cm。表装は縦107・5cm、横32・6cmです。

達磨図は、中国禅宗の祖である菩提達磨を主題とした絵画です。日本では、禅宗が定着して以降、禅宗寺院の最も基本的な仏画となつています。本像は、画面右下の落款から、開山の別伝宗分（ちゅうぶん）の作であることがわかり、宗分が亡くなった寛文8年（1668）までの製作と考えられます。元は檀家に伝えられてきましたが、明治28年（1895）に寒光寺に寄進されました。

本像は、開山別伝宗分の作であること、また伝来経路がはっきりしていることから、区にゆかりのある重要な絵画といえます。

深川江戸資料館春の特別展

もめん

暮らしをつつむ木綿展

4月26日(土)から開催

深川江戸資料館(白河1-3-28)では、4月26日(土)から春の特別展「暮らしをつつむ木綿展」を開催します。展示では、豊田満夫氏の木綿コレクションを中心に、衣類・手ぬぐい・風呂敷・のれん・夜着など人びとに使用されてきた木綿たちの姿を「暮らし」「装う」などの生活場面ごとに紹介します。

過去の先人たちが遺した木綿にあらわれた生活のあかし、さらに現代のわたしたちまで続く木綿と庶民生活の深い関わりを探ります。

木綿は人びとの暮らしの必需品として江戸中期以降、庶民に普及



夜着

美しい染めや織りが庶民のものになりました。また何度も洗濯し、水に濡らすほど強さを増すなど、木綿は四季をとおして庶民生活にかかせない存在となりました。

今回の展示の中心となるのは、豊田満夫氏の木綿コレクションです。

し日常生活を中心に、わたしたちをつつんできました。それまで麻や葛布を身にまとっていた庶民にとり、木綿を得たことは、生活の中の衣料に革命をもたらした、全国流通の発展とともに、人びとにとって木綿は最も身近な繊維になりました。

麻や絹にくらべ柔らかく温かく、通気性に富むのが木綿の特徴です。さらに吸水性が良く染めやすいため、

半世紀にわたり浴衣・手ぬぐい・風呂敷たちにかこまれてきました。入社当時から勉強のために、木綿をはじめとする庶民生活のなかの染色資料の収集・保存につとめ、現在では貴重なコレクションとなっています。

暮らしをつつむ木綿の姿をぜひ御覧ください。皆様のおいでをお待ちしております。

期間 4月26日(土)～5月5日(月)

午前9時30分～午後5時

*入館は4時30分まで

場所 資料館レクホール

一階入口からお入りください。

観覧料 大人 300円

小中学生 50円

常設展示分にくまれます。

——記念講演会のご案内——

特別展開催を記念して、講演会を開催します。

講師 豊田満夫氏(木綿コレクター)

演題 「木綿に誘われて」

日時 5月3日(土)

午後2時～4時

場所 深川江戸資料館2階小劇場

入場 無料

申込み 午前10時～ 電話受付

☎ 3630-8625

定員 先着300名



皮団布

江東ゆかりの人物(4)

にほんだえもん
日本駄右衛門



演劇・講談でおなじみ、白浪五人男の統領、賊徒の張本、日本駄右衛門の胴塚が、森下2丁目長慶寺にあつた。

本名浜島庄兵衛、見付(現静岡県磐田市)を中心に遠州一帯の大盗賊のボス。手下200名という。面長、色白、鼻筋が通り、眼は中細、月代は濃く、凄味の利いた男。延享3(一七四六)年幕府の全国指名手配書にそう書いてある。

幕命によって現墨田区石原2丁目辺に屋敷があつた火付盗賊改役徳山五兵衛重旧が逮捕に向う。が、浜島庄兵衛、悪運つきて京都町奉行所に自首。江戸送り、延享4(一七四七)年処刑。29才という。首は見付に送り、胴体は徳山重旧の菩提寺長慶寺に葬られる。が関東大震災で消失した。幕末に河竹黙阿弥が「青砥草紙花紅彩絵」の演題で芝居に仕組み大当り。日本駄右衛門没後115年目のことであつた。

(辻 康信)

おしらせ

第13回

文化財保護推進員講習会

教育委員会生涯

学習課文化財係では、区内の文化財を区民の皆さんに知っていただき、一緒にその保護を進めていただく地域リーダー養成のために、文化財保護推進員講習会を開催します。史跡めぐり、拓本の実習など講習会の内容は豊富です。



講習会風景

この機会にぜひご参加下さい。

期間 5月7日(水)～12月3日(水)

全23回 毎週水曜日

午後6時30分～8時30分

会場 江東区教育センター

*講義内容により会場・曜日を変更する場合があります。

対象 区内在住の方

受講料 無料(教材費は自己負担)

申込 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号および「文化財保護推進員講習会」と明記のうえ、4月21日(必着)までに左記へ申込んで下さい。

定員 30名(申込多数の場合は抽選)

◇申込先・問合

教育委員会生涯学習課文化財係

調査は調査団を組織して行いますが、団員には区内在住・在勤の方々に参加をお願いしています。ご自分の住む町、勤めている町で営まれてきた生活の様子に興味がある方は、ぜひご参加下さい。はじめての方でも歓迎します。

申込先 生涯学習課文化財係

〒135 江東区東陽4-11-28

☎(3647) 9111

(内線) 3361

※切 5月19日

民俗調査団員募集

対象は深川東部地域

昭和56年に始まった江東区民俗調査は、今年で17年目を迎えることとなります。59年度からは区内各所の民俗総合調査を行ってきまして、本年度は、昨年度に引き続いて毛利、住吉、猿江、扇橋、石島、千田、海辺、千石、東陽地区を対象とした総合調査を行います。

江東史談会例会

日時 4月25日(火)午後6時

会場 深川老人福祉センター

参加 自由、会費1000円

連絡先 細田隆善 3641-5780

芭蕉記念館から

ジュニア俳句教室

日時 5月10日(土)

午前9時30分から11時30分

会場 芭蕉記念館2階研修室

内容 俳句を作ってみませんか

対象 区内在住の小学生

定員 30名(先着順)

集合 午前9時20分(筆記用具持参)

費用 無料

申込 5月9日までに電話で

◇芭蕉記念館 江東区常盤1-6-3

(3631) 1448

伝統の技 実演公開

工匠館から

毎月第一・第三日曜日に工匠耆番館(森下文化センター内)で行っています職人さんの今後の実演日程は次のとおりです。

5月4日 裁着袴 富永 皓

5月18日 人形頭 小島 孝司

*時間はいずれも午後1時～3時



旧大石家住宅から

鯉のぼり・五月人形を飾ります

桃の節句も終わり、桜も盛りを過ぎるといよいよ新緑の五月。旧大石家住宅では、端午の節句にちなんで鯉のぼりと五月人形を、区民の方から寄贈されたものを中心に飾ります。

この五月飾りは、5月11日(日)までです。なお、旧大石家住宅では、4月より土・日に加えて、祝日などの休日にも公開することになりました。

訃報

江東区登録無形文化財(工芸技術・刺繍)保持者石井靖子氏(84歳、石島6-14)は、去3月20日に逝去されました。また同無形文化財(工芸技術・木型(鑄造)製作)保持者井上明氏は去3月23日に逝去されました。慎んで追悼の意を表します。